

# B班

藤岡・田中・劉・曾根・原

# 併用型カリキュラムの受講環境整備について

～ 三者協働の視点から考えてみよう ～



学生



教員



職員

# 目次

- 00 結論
- 01 対面・遠隔の長所短所
- 02 関西大学のDP
- 03 併用型の課題と改善策
- 04 まとめ

**対面授業と遠隔授業の共存には何が必要か**

**結論**

**”対面と遠隔の共存”**

**= 適材適所**



**授業の目的ごとに**

**”対面 or 遠隔” を決定**

# 01 対面・遠隔の長所短所

# 対面授業

## 長所

- ① 人とのつながり  
(授業時間以外の交流)
- ② 双方向性のある授業が  
比較的実現しやすい

## 短所

- ① 教員と学生との距離により  
学習が制限される
- ② 外的要因による学習制限  
(感染症や自然災害等)

# 遠隔授業

## 長所

- ① 学生と教員の距離を問わず学習できる
- ② オンデマンドの場合学習の振り返りをしやすい

## 短所

- ① 学生同士や教員との交流が希薄化する
- ② 教員が授業中に学生の反応を確認しづらい



## 02 関西大学のDP

# 学士課程のDP 3要素

知識・技能

思考力  
判断力  
表現力

主体的な態度

**どのように  
対面と遠隔を共存させる？**

# “対面と遠隔の共存”

それぞれの長所が異なる



授業の目的ごとに

”対面 or 遠隔” を決定

# “DP”達成に適しているのは

思考力  
判断力  
表現力  
主体的な態度

対面

知識  
技能

遠隔

**具体的には？**

# 対面授業

①思考力・判断力・表現力・主体的な態度 の  
習得が目的

②学生同士が授業内外で交流の機会を得る

ex)ゼミ活動・教職課程の授業

# 遠隔授業

- ①知識・技能の習得（振り返り）が目的
- ②コロナ禍における配慮学生へのサポート
- ③海外など遠方の教員とのマッチング
- ④海外など遠方の学生とのマッチング

ex) 法曹プログラム・外国語の授業



# 03 併用型カリキュラムの 課題と対策

学生

課題: 遠隔授業を受講する場所が無い

原因: 対面と遠隔が混在している

現状ほとんどの遠隔授業が  
オンデマンド配信されている

But

リアルタイムのみの遠隔授業も存在する

## ①授業の目的ごとに 対面or遠隔を決定

思考力  
判断力  
表現力  
主体的な態度

対面

知識  
技能

遠隔

## ②遠隔の場合

### オンデマンドを義務化 理由

大学で遠隔授業の履修が難しい

どのように？

Panoptoの活用

# 本提案における問題点

思考力や判断力等の育成を  
”メインの目的”とした授業に  
対面で参加できない学生もいる

ex) コロナ禍の配慮学生

**Q.コロナ禍など限られた環境下で  
大学側ができることは？**



**遠隔授業を受講する環境の確保**

**課題：受講環境を整備するための予算**

**原因：法人本部と大学本部の隔たり**

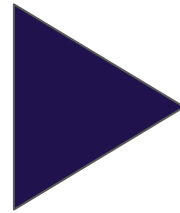


# 予算を管理する部署が

Before

After

現場の状況を  
把握すること  
が難しい



現場の状況を  
把握しやすく  
なる

# 04 まとめ



**教員**

**授業開始前**

**授業の目的ごとに対面or遠隔を決定**



**教員**

**職員**

**授業期間中**

**遠隔授業⇒オンデマンド配信 / 部署交換制度**



**学生**

**職員**

**授業終了後**

**学生調査と部署交換制度による課題解決と発見**

**Q & A**

# ”部署交換制度”の概要

- 期間:1年に1週間
- 時期:秋学期中盤(予算決定前)
- 人数:1人/1部署
- 対象部署:授業支援・教務・ITセンター・財務

予算ヒアリング

ex)説明会

部署交換制度

ex)インターンシップ

既に学生へのPC・WiFi貸出は行っている

But



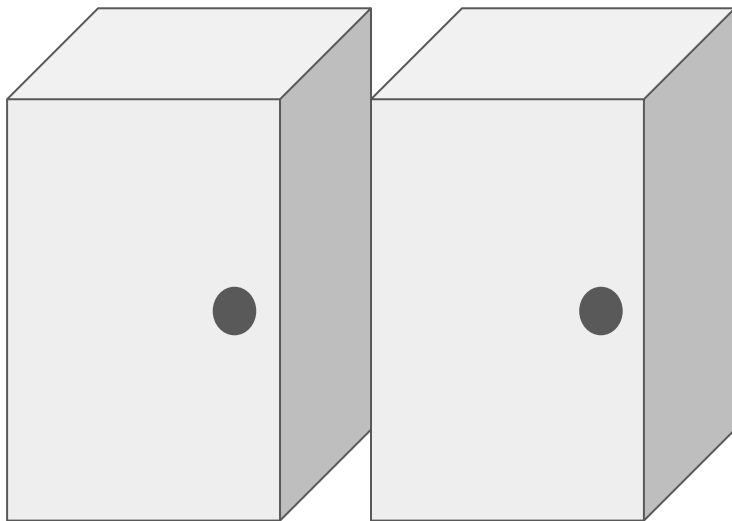
現状

インフォメーションシステムでの周知のみ

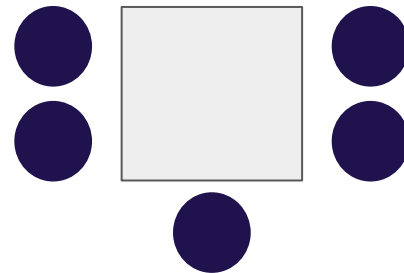
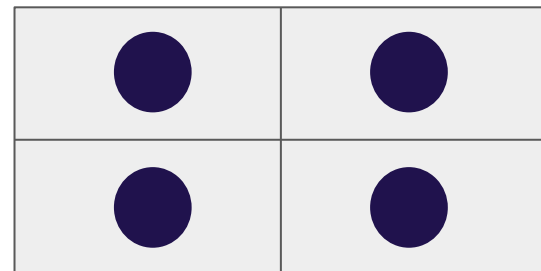
➡遠隔授業は“LMS”でPC貸出について周知

# ”受講環境の確保”とは

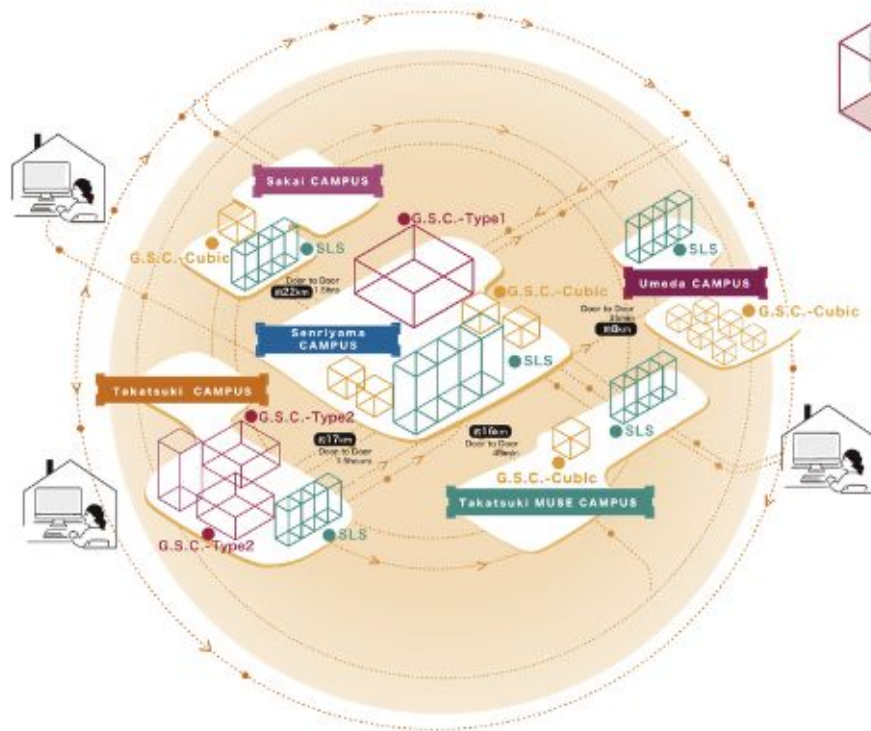
## ①個別学習スペース



## ②高機能マイク



NEW EDUCATIONAL CLASSROOM  
新たな教育環境の提供

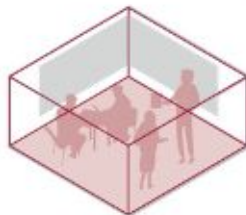


集団授業向け教室

G.S.C. (約40㎡)

Global Smart Classroom  
Type1 and Type2

対面×オンラインでの参加が可能とし、全ての参加者に一体感と、同質かつ公平な参加機会を提供



配信専用教員ブース

G.S.C. - Cubic (約10㎡)

Global Smart Classroom  
Teaching Cubic Space

教員授業配信用個別ブースを設置することで、各教員・各授業で一定の高いクオリティで授業を提供することが可能に。各種ツールの利用により、教員と生徒に一体感のある授業へ。



オンライン個別授業ブース

SLS

Self Learning Space

個々の学習者がキャンパス内でも遠隔参加しやすい環境を設置。ネット環境による授業の途切れや音声の不調をなくし、一定のクオリティの授業を履修できる環境づくりを目指す。

